

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聴覚・ろう重複センターつくしっこ		
○保護者評価実施期間	2025年1月17日		～ 2025年1月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年1月17日		～ 年月日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを理解し、適切な支援が提供できている。	個別支援計画をスタッフ間で共有し、子どもの様子や近況など伝えあいながら支援にあたっている。	日々の振り返りを大切にし、支援に対して共通認識を持って臨めるよう話し合う。職員だけでなく、パートスタッフとも話し合う機会を設ける。
2	事業所利用の際の説明が丁寧できている。	契約時に保護者や利用者が不安にならないように、利用に際しての説明を具体的にしています。	継続利用の方に対しても、報酬改定などで利用料や制度の変化があった際に理由を述べて丁寧に説明する。
3	事故や災害を想定して訓練を行っている。	月に1回防災企画を設け、あらゆる想定の実行を行っている。	防災企画は継続し、それを保護者に報告し、課題や情報を共有する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと接する機会が少ない	児童館や放課後クラブに出かけることはなく、事業所内での活動が多い。	企画等で交流する機会を設ける。また、普段の公園遊び等で自然に交流できるよう配慮する。
2	保護者の交流会など、家族支援。	保護者会などは開催しておらず、交流の機会を設けていない。	保護者会を開催するなど、交流できる場を設ける。また、常に発達やコミュニケーション方法について相談しやすい環境を整える。
3			